

## 樹木名シートを設置しました

須田 大樹

オリエンテーションホール奥の窓辺に、庭の樹木を紹介する透明シートを設置しました。メタセコイア、モミ、アカマツなど、主な樹木の名前を知ることができます。

地学展示ホールで日本列島では絶滅したメタセコイアの化石を見た後は、中国で生き延びているのが発見され 1954 年に当館に植えられた「生きた化石」をぜひご覧ください。樹齢 65 年で高さ約 30m、胸高直径約 110cm！その成長の早さは、ディスカバリーコーナーに展示している樹幹断面標本でもご確認いただけます。

(すだ だいき・学芸員)



樹木名シートと庭のメタセコイア (右)



地学展示ホールの  
メタセコイア化石



ディスカバリーコーナーの  
樹幹断面標本

## 本年度も「古秩父湾スタンプラリー」を開催します！

秋元 清二

約1,700万年前に誕生し、約1,500万年前に姿を消した「古秩父湾」。天然記念物に指定されている各地層には、太古の海の誕生から消滅までの200万年間の海の盛衰が残されています。平成28年3月1日、秩父地域にある、古秩父湾の地層が表出している6つの露頭と当館が所蔵している9件の海棲哺乳類化石が国の天然記念物に指定されました。

天然記念物に指定された年から、普及と認知度向上のために開催しているスタンプラリーを本年度も実施いたします。

当館では関係市町村に協力いただき、地層の近くに所在する観光施設等にスタンプを設置させてもらっています。多くの人に参加してもらうため、スタンプを集めることで漏れなくもらえる「オリジナル缶バッジ」と抽選でもらえる「恐竜の歯の化石」の記念品を用意しています。

天然記念物の保存と活用には、多くの人の協力が必要となります。そのための第一歩として「存在を知ってもらう」ことが大事であると考えています。

多くの方のご参加をお待ちしております。

(あきもと せいじ・主任)



スタンプ台は  
職員の手作り

プレゼント用  
オリジナル  
缶バッジ

